



新羽の伝統を守る力

歴史ある新羽には、古くからの伝統を守り活動する団体が数多くあります。新羽地区社会福祉協議会は、皆様からお預かりした賛助会費から助成金を経て、歴史を未来に続ける活動を補助しています。

その中から、今号は「鶴見川舟運復活プロジェクト」(本年区社協顕彰者団体表彰受賞)、「注連引き百万遍保存会」、「大新羽音頭普及会」を紹介します。

現代のようにトラックが無く道路が整備されていなかつた頃は、舟で人や荷物を運ぶ『舟運(しゅううん)』という文化がありました。鶴見川でも舟運が盛んで新羽という地名は荷場(にば)から名付けられたと新羽杉山神社の石碑にも刻まれています。

鶴見川に小舟を浮かべることができたら、文化の継承になるといふ思いから「鶴見川舟運復活プロジェクト」を平成19年(2007年)に発足させました。

現在の活動として、鶴見川で自分達が作成した和舟に乗ります。年に数回、地域の子どもたちに乗船体験をしています。また新横浜公園の一角に水田を作り、毎年もち米を作っています。田植えから始まり、秋の稲刈り。稲刈り後の稲わらは地域伝統行事の「わらへび保存会」でのわらへび作りの重要な材料に使い、脱穀した米は子

鶴見川舟運復活プロジェクト

現代のようにトラックが無く道路が整備されていなかつた頃は、

舟で人や荷物を運ぶ『舟運(しゅううん)』という文化がありました。鶴見川でも舟運が盛んで新羽

地域ケアプラザや鶴見川流域センター(小机駅近く)で舟運や治水の歴史の解説、ミニ和舟の展示などの学習支援も行つており、今回表彰となりました。

大新羽音頭普及会

昭和30年(1955年)、鉄筋コンクリート製の亀甲橋(かめのこばし)完成を記念して作られた「新羽音頭」は野路當作

作曲です。地域の人々が野菜や花の名前を入れて欲しいと注文をつけ出来たもので、「新羽音頭」は各町会の盆踊り等で歌い、踊られ続けてきました。

しかし年を経て、新羽の町も地下鉄が通るなど大きく様変わりし、それまでの歌詞とは実情がそぐわなくなりました。そこで平成16年(2004年)に中山宏作詞・うすいてつお作曲・小山米子振り付けの「大新羽音頭」が新たに作られ、現在に至っています。

現在の活動としては歌うことが出来ても、踊り手が少なくなり一時期途絶えそうになってしまい、当時の町会有志が保存会を作り、振り付けも次世代に引き継げるよう踊り手も増やしていました。

コロナ禍前は、新羽小学校児童に振りを覚えてもらい運動会等でも踊つてもらいましたが、コロナ禍で活動が出来なくなりました。

コロナ明けから名前を「普及会」として地域の方への踊りの継承に精力的に活動を始めました。会員はおよそ30名、月に1回の新羽地域ケアプラザでの練習会を行っております。

今年はおそろいのTシャツを購入し、新羽サマーフェスティバルや健民祭で踊ることはもちろん、

新羽
地区

ふくしの和

第41号

発行 新羽地区社会福祉協議会



どもたちに餅つき体験を行つています。

鶴見川や水田などの自然観察会も開催し、子ども達に自然に接する機会を与え、地域文化を楽しんでいます。

地域ケアプラザや鶴見川流域センター(小机駅近く)で舟運や治水の歴史の解説、ミニ和舟の展示などの学習支援も行つており、今回表彰となりました。

●大新羽音頭

新羽音頭も大新羽音頭も「みんな輪になつて踊れ」とあります。これからも地域の方に末永く継承していくことの助けになるよう活動していきますので、月1回の練習会や祭り等で、ぜひみなさまも踊つてください。



三、市営地下鉄高速道路

語る歴史の鶴見川

先輩の教えを心に刻み

知恵をしづつて街づくり

新羽新羽新羽すすめヨ…

大新羽音頭でソレソレソレ

みんな踊れみんな踊れ

新羽新羽新羽すすめヨ…

大新羽音頭でソレソレソレ

みんな踊れみんな踊れ

新羽新羽新羽すすめヨ…

大新羽音頭でソレソレソレ

みんな踊れみんな踊れ

こんなにもある 地域の踊り

新羽町には大新羽音頭があるが、他の地域にもご当地音頭が数多くある。

各地区社協のみなさんの協力で、一覧にしてみました。

地区名	踊り名
高田地区	高田音頭
新吉田地区	新吉田音頭
城郷地区	小机音頭
城郷地区	岸根音頭
菊名地区	菊名音頭
綱島地区	綱島音頭

古いものは戦前から、ごく最近作られたものまで歴史もそれぞれ。こちら以外にもまだまだあります。

主に町内盆踊り大会、夏祭りにて踊られています。他の地域の踊りも体験してみてはいかが?



また、新羽小3年生に1人一匹の小さな藁蛇を作る行事にも協力し、新田小児童の大蛇作りの見学やヘビ作り指導などで、子ども達や保護者の方に地域文化の継承を行つております。



完成品

三、ハーアー 花の新羽はね
花から明けてヨ
はずむ種まき 煙から 田から
春が来る来る
(離し) ソレ サーサ
にここに パツと輪になつて
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ

二、ハーアー 汗のダイヤでネ
仕事着飾るヨ
あの娘 水仙
わしゃ チューリップ
男ミニョウガで 割るスイカ
(離し) ソレ サーサ
にここに パツと輪になつて
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ

六、ハーアー 粉な気っぷでネ
ホウレンソウでヨ
増える子かぶに 亀の子山の
月もぬれます
(離し) ソレ サーサ
にここに パツと輪になつて
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ

五、ハーアー 雪の下でもネ
スイートホームヨ
積んだ俵に 夢見る朝は
新羽銀座の あすを呼ぶ
(離し) ソレ サーサ
にここに パツと輪になつて
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ

四、ハーアー 台ヶ谷戸からネ
新田かけてヨ
祭り太鼓が ドンと鳴る宵は
胸も鳴るのよ
(離し) ソレ サーサ
にここに パツと輪になつて
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ

(1974年4月レコード化
東京・銀座 高速商会)

新羽音頭 旧歌詞

注連引き百万遍保存会 (しめひきひやくまんべん)

江戸時代よりこの新羽町中之久保地区に伝わってきた行事です。
天保時代(1830年)、飢饉(ききん)などで多くの村人・特に子供が亡くなつたことから、お地蔵さんを作り、各家を回り念仏を唱えました。また屋外では疫病

を唱えました。



新羽の伝統を守る活動に、みなさまの参加をお待ちしております。

舟運復活プロジェクト

和舟の漕ぎ手、米作りのお手伝い募集中 自然の中での作業は楽しいですし、癒やされますよ。舟に乗ったり、田植えで泥に足をいれるなど、日常では経験できないことを、子ども達と一緒に行いましょう。

問い合わせ先:ホームページまで



大新羽音頭普及会

新羽地域ケアプラザにて月1回ほど練習日があります。回観板、掲示板、新羽地域ケアプラザにチラシがありますので、予約なしで参加可能です。幼児からご高齢の方まで年齢、性別関係なく、一緒に楽しく踊りましょう。



注連引き百万遍保存会

主に西方寺(新羽町 2586)境内にて、百万遍念仏法要と藁ヘビ作りを行います。主に9月~11月の中で数回の活動です。新しい藁の香りに癒やされながら、歴史の一歩を一緒に紡いでください。藁に触ったことがない人でも大丈夫。周りの方が丁寧に教えますので、ご安心を。

問い合わせ先:西方寺またはホームページまで



制作:新羽高等学校 ボランティア部

新羽サマーフェスティバル

令和7年 8月16日 土



新羽地区健民祭 2025

10月19日に開催



赤チームと白チームに分れて
4) 段ボールの中でハイハイ一
ながら進むよ。頑張れー エツホ
エツホ、曲がるなよー

5) ボールが軽いから、簡単に
投げられるよ。大人のほうが真剣、
集中、負けないぞ

6) 火事だー、バケツリレーで
火を消すぞー!! バケツに山盛り
のカラーボールを慎重に落とさな

町内会対抗にせず、だれでも参加できる競技を実行委員会が考えた『あたらしい形の健民祭』が今年も無事開催された。8時半～13時 新羽中学校校庭にて

プログラム 1) ラジオ体操 2.
50m徒競走 3) 親子でよいどん これだけは未就学児と保護者のみ参加可能 4) 段ボール競争
5) 玉入れ 6) 新羽の輪(バケツリレー) 7) 大新羽音頭 8) 錄引き 9) リレー(オープン) 10) RUN伴
防災ウルトラクイズ 11) RUN伴

いように。あー落ちた。急いで拾つて。隣に並んだ方と「初めまして」笑顔があふれて心もひとつ。新羽の輪がつながった。

7) 校庭いっぱいに二重の輪。
そろいのTシャツの保存会のみなさんをお手本に。小さい子だつて曲にあわせてぴょんぴょんぴょん
8) 力持ちじゃなくともいい。小さい子から年配者まで それ
オーワンダーワンダース。

9) リレーだつて自由参加。その時に集まつた方々全員で大人も



子供も男女もバラバラ。15名ずつで3チームでの対抗戦。1人半周での走りに、おおいに盛り上がりました。



『認知症の人もそうでない人も、タスキと共に想いを繋いだ
RUN伴につば』

横浜市新羽地域ケアプラザ
地域活動交流コーディネーター
村井田 優子

新羽地域ケアプラザ・コミニティハウスでは、認知症になつても安心して暮らせる町を目指して、令和二年より、「オレンジの輪プロジェクト」として上映会や講演会、認知症や介護の不安や悩みをおしゃべりするオレンジカフェ、などを進めてきました。そして今年からはチームオレンジNIPPAとして、認知症本人や家族の希望の実現や困りごとの解消に向けて話し合っていく「オレンジミーティング」と認知症の方と一緒に走つてタスキを繋ぐ「RUN伴(とも)」を実施することになりました。ここではその「RUN伴」についてご紹介いたします。



RUN伴とは、認知症の人と一緒に走る(歩く)体験を通じて、認知症を知り、ひとりひとりができるなどを考えるというものです。認知症が世界的な社会課題として注目が集まる中、このRUN伴が目指す活動に賛同する市町村、自治体が増え、日本各地でRUN伴が実施されています。新羽も誰もが安心して暮らせる町づくりの一つの方法として、スポーツ推進員や青少年指導員、地域有志の協力の元、健民祭とコ

テイハウスでは、認知症になつても安心して暮らせる町を目指して、令和二年より、「オレンジの輪プロジェクト」として上映会や講演会、認知症や介護の不安や悩みをおしゃべりするオレンジカフェ、などを進めてきました。そして今年からはチームオレンジNIPPAとして、認知症本人や家族の希望の実現や困りごとの解消に向けて話し合っていく「オレンジミーティング」と認知症の方と一緒に走つてタスキを繋ぐ「RUN伴(とも)」を実施することになりました。ここではその「RUN伴」についてご紹介いたします。

RUN伴とは、認知症の人と一緒に走る(歩く)体験を通じて、認知症を知り、ひとりひとりができるなどを考えるというものです。認知症が世界的な社会課題として注目が集まる中、このRUN伴が目指す活動に賛同する市町村、自治体が増え、日本各地でRUN伴が実施されています。新羽も誰もが安心して暮らせる町づくりの一つの方法として、スポーツ推進員や青少年指導員、地域有志の協力の元、健民祭とコ

テイハウスでは、認知症になつても安心して暮らせる町を目指して、令和二年より、「オレンジの輪プロジェクト」として上映会や講演会、認知症や介護の不安や悩みをおしゃべりするオレンジカフェ、などを進めてきました。そして今年からはチームオレンジNIPPAとして、認知症本人や家族の希望の実現や困りごとの解消に向けて話し合っていく「オレンジミーティング」と認知症の方と一緒に走つてタスキを繋ぐ「RUN伴(とも)」を実施することになりました。ここではその「RUN伴」についてご紹介いたします。

参加者は、地域の皆様、福祉関事業所や郵便局、認知症のグループホームの方など、老若男女四十二名になりました。杖を突いて歩く方もいれば、未就学児のお子さんもいて、さらには雨が本降りになることもあります。誰一人、途中棄権することなく中学校への坂道を上りきると、最後は会場からの盛大な拍手に迎えられ、みんなで感動のゴールを果たしました。

参加してくださった認知症ご本人も「楽しかった」「来年も歩けるよう頑張る」と本当に喜んでくれました。

参加してくださった認知症ご本人も「楽しかった」「来年も歩けるよう頑張る」と本当に喜んでくれました。

RUN伴は認知症になつたら終わりではなく、認知症になつてもできることがある、認知症の人と一緒にできることがあります。そこでの気づきによって、誰もが暮らしやすい地域づくりを、認知症が共に生きる日常へと変わつて行くことを目指しています。RUN伴につばでも「認知症の人々と出会う・繋がる」「認知症をジブンゴトとして考える」「それぞれができるアクションをとる」ことに繋がればよいと思います。オレンジ色の集団を見て、なんだろうと

新羽地区
「コムで飛ばす紙ヒコーキ」
制作講習会が開催



10月13日、新羽中学校にて「コムで飛ばす(カタパルト)紙ヒコーキ」の制作講習会が行われ、新羽小学校の児童17名が参加しました。

当日は、コミュニティルームで、専用の型紙を使った紙ヒコーキづくりに挑戦!



制作後は体育館にて飛距離の測定を実施。今回の最長記録は、加藤君(3年生)による12・21mでした。

参加者からは「思ったように飛ばなくて残念だった。もう一度丁寧に作り直して本大会では満足のいく結果を出したい」との声もあり、本大会への意欲が感じられました。

なお、参加者は11月2日(日)に港北スポーツセンターで開催される本大会に出場予定です。

大会では飛距離部門とデザイン部門の2つで競技が行われます。児童たちの工夫と努力が光る作品に、ぜひご注目ください。

ラボという形で「RUN伴につば」を開催することができました。コースは新羽地域ケアプラザから、中継地点として場所を提供くださったDEPO新羽町、ニッパ株式会社を経由しながら、新羽中学校までの約一キロの道のりを歩き、最後は新羽中学校で開催されている健民祭参加者の皆様と校庭を一周歩いてゴールしようといふもので。



興味を持った方や、認知症の人のためにできることは意外と身近にあるのかかもしれないと気づいてくれた方もいるかもしれません。この機会が新羽の町がよりつながりあい支え合い、誰もが安心して自分らしく暮らせる、誰にとつても優しい社会へと広がっていくことを願っています。

最後に、ご参加、ご協力をいたしましたすべての皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。

紙やすりでの仕上げなど、細部まで丁寧に作業を進めました。飛行の安定性には左右のバランスが重要なため、参加した児童たちは真剣な表情で取り組んでいました。



例年10月6日は、新羽杉山神社（新羽駅徒歩6分）で秋のお祭り「例大祭」が開催されます。夕方には参道に夜店が並ぶので、子どもから大人まで世代を超えて楽しめます。

あまりご存じでないかも知れませんが、階段を上がった本殿横では、夜6時から演芸の催しがあります。小学生からミドル世代まで幅広い参加があり、大新羽音頭普及会の踊りがあれば、小学生のキッズダンス、ウクレレの演奏に若いグループのバンド演奏、阿波踊りに詩吟、カラオケとバリエーション豊か。観客も大いに盛り上がり楽しんでいます。

来年の10月6日には、夜店が並ぶ参道から演芸の観覧にお越しください。当日の飛び入り参加も可能ですよ。

新羽杉山神社例大祭の様子

新羽町町内会、今年も防災訓練を実施 —座学と実地訓練で災害時への備えを再確認—

新羽町町内会は9月6日、町内会理事を対象にした防災訓練を実施した。訓練は毎年恒例となつており、今年も新羽町町内会館で行われた。

訓練の前半は、横浜市が提供する「横浜防災e-パーク」の動画を活用した座学。リチウムイオン電池火災への対策や風水害への備え、熱中症対策など、身近なリスクに対応するための知識を学んだ。また、新羽町町内会の防災拠点として指定されている新羽小学校区、新田小学校区の拠点についての説明も行われた。



訓練終了後は、町内会館で炊き出しが行われ、訓練で炊いたご飯を使つたカレーと豚汁が振る舞われた。参加者からは「実際に体を動かすこと



新羽地域ケアプラザ・コミニティハウスの2階にあるプレイルームは、赤ちゃんから未就学児の親子がいつでも気軽に利用できる遊び場です。絵本とおもちゃが

**新羽の子どもたちを守る力
こどもと保護者の
居場所づくりを紹介します。**

新羽地域ケアプラザ・コミニティハウス・プレイルーム

新羽町町内会は9月6日、町内会理事を対象にした防災訓練を実施した。訓練は毎年恒例となつており、今年も新羽町町内会館で行われた。



訓練の後半は実地訓練に移り、AEDや水消火器の取扱訓練のほか、三角巾の代わりにレジ袋を使つた応急手当訓練、湯煎

子育てサロン たんぽぽにっぽ



子育てサロンたんぽぽにっぽ	
造形あそび	公園あそび
日時：毎月第3火曜日 10時～11時 施設：15歳 13時～14時 フリー 会場：新羽伊勢ヶ原アラタ	日時：毎月第3火曜日 10時半～ 会場：新田公民館 料金：午前半会場に新田公民館
きたにっぽ	フリーあそび
日時：毎月第3月曜日 10時～11時半 会場：北相模会館 料金：5ヶ月から	日時：毎月第4火曜日 10時～11時 会場：新羽伊勢ヶ原アラタ
対象：1歳～未就学児 新規、既規、既規、既規 ※この会員登録料金を支払して頂いています。 お子様から離せないで下さい。	対象：1歳～未就学児 新規、既規、既規、既規 ※この会員登録料金を支払して頂いています。 お子様から離せないで下さい。
会員登録料金 1月、8月、 連絡先：新羽伊勢ヶ原アラタ 045-542-1207 東京都立新羽伊勢ヶ原会館 新羽伊勢ヶ原アラタ内	会員登録料金 1月、8月、 連絡先：新羽伊勢ヶ原アラタ 045-542-1207 東京都立新羽伊勢ヶ原会館 新羽伊勢ヶ原アラタ内

1才くらいから未就学児までのお子さんと保護者の皆さん、どこで遊ぼうかな?と思つたら「たんぽぽにっぽ・たんぽぽきたにっぽ」があります。家ではできないような制作活動をして季節を感じたり、フリースペースの日はおしゃべりを楽しんだり。そこで新しい仲間と繋がれたら嬉しいです。

いつも安全で安心して遊べる親子の居場所を掲げ今年で二十三年になります。かつて子



地域の皆様 いつも温かく見守ってくださりありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

月曜日～土曜日 朝9時～夜9時
日曜日・祝日 朝9時～午後5時
休館日 每月第4月曜日・年末年始

あり、おむつ交換や授乳ができるスペースもあります。利用は無料で、事前予約は不要です。その他、毎週水曜日午前は子育て支援者による「子育て支援者会場」になります。あちゃんを遊ばせながら気軽に子育ての相談ができる、不安なことや悩んでいることを一緒に考えてくれます。地域の親子が集まりますので、友達づくりもできます。雨の日や暑い日・寒い日、おむつ替えや病院の待ち時間等にも気軽にご利用下さい。

月曜日～土曜日 朝9時～夜9時
日曜日・祝日 朝9時～午後5時
休館日 每月第4月曜日・年末年始

あり、おむつ交換や授乳ができるスペースもあります。利用は無料で、事前予約は不要です。その他、毎週水曜日午前は子育て支援者による「子育て支援者会場」になります。あちゃんを遊ばせながら気軽に子育ての相談ができる、不安なことや悩んでいることを一緒に考えてくれます。地域の親子が集まりますので、友達づくりもできます。雨の日や暑い日・寒い日、おむつ替えや病院の待ち時間等にも気軽にご利用下さい。

横浜市立新羽小学校
校長 佐藤恵子

五十年目の節目に

謹んで初春のお喜びを申し上げます。地域の皆様には、日頃より学校教育へ温かいご支援をいただき、心より感謝申しあげます。

私は以前、「女だからスポーツは好きじゃない」という発言をうけました。私はその時、その言葉に「女の子でもスポーツを好きな人もいるじゃない」と思いとても不愉快な気分になりました。他にも日常生活で「男だから」、「女だから」という発言をよく耳にします。

私はその時、「ジェンダー平等」という言葉を思いました。「ジェンダー平等」とはSDGsの5つの目標です。正式には「ジェンダー平等を実現しよう」

実際に世界では「労働力にならない女性は家で家事や子育てをしていい」や「女性には教育は必要ない」という考えが根強く残っている国々がいまだにあります。私はそんな意見に反対です。な

です。「男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばします。あなたは「ジェンダー平等」を意識できていますか。

ゼならそれは女の子だからという決めつけの意見にすぎないからです。私は「女の子だから」「男の子だから」と決めつけるのではなくその人の個性を大事にすることを大切にしています。その行動によって決めつけの意見で傷つく人が周りからなくなると思いま

す。そして、その行動は「ジェンダー平等」を実現する大きな第一歩になると私は思います。例えば「女の子だから」、かわいい服がいいとあなたは思うかもしれません。しかし、女の子でもかっこいい服が好きな人がいるかもしれません。だから決めつけるのではなく、その人の個性を大事にして接していくことが大切なことです。

その人の個性を大事にし、決める発言をしない。その行動を意識しながら生活することであなたは簡単に「ジェンダー平等」への、幸せな世界への第一歩へと進むことができるのです。あなたの行動は世界を変えるとともに大きな第一歩になります。いつかみんながその大きな第一歩へと進んだ時「ジェンダー平等」を実現でき、みんなが幸せに暮らせる世の中になると私は思います。

世界を変える大きな一步

新羽小六年 手塚詩織

児童福祉について(佐藤校長先生より)

テーブル贈呈式

10月2日(木) 9時~

~特別支援教室「たけのこルーム」への備品贈呈の報告~

新羽小学校 佐藤校長先生と『令和7年度児童福祉事業』について協議し「レイアウト自在の台形テーブル」を特別支援教室『たけのこルーム』に設置したいとご要望がありました。よって今年度の児童福祉の事業として、台形テーブル3台を助成しました。

佐藤校長先生からのお便りです。

新羽小学校の特別支援ルームを利用する児童にとって、使いやすく落ち着ける場所となるよう、試行錯誤しながら整備を進めているところです。今回お話をした「台形テーブル」は二つ組み合わせると六角形、四つ組み合わせると三角のテーブルになり、組み合わせ方でさまざまな形の大きなテーブルになります。その場その場にあった合理的な使いができ、子どもの発想で自分たちが使いやすい環境づくりを楽しめるところが、最も優れた点だと思いました。

毎年、本校児童の学習環境整備に多大なお力をいただき、職員一同心より感謝申し上げます。



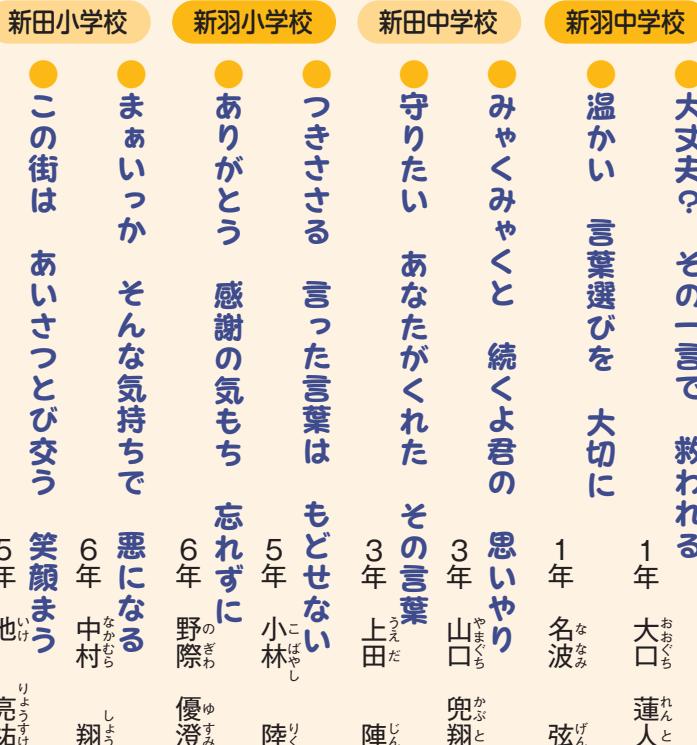
新年のご挨拶

横浜市立新羽小学校
校長 村岡 靖

新年あけましておめでとうございます。新羽地区の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、本校の教育活動に常日頃よりご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。私が新田小学校に着任して、今

ふくしの和

令和7年度「社会を明るくする運動」 標語コンクール 優秀作品

横浜市立新羽中学校
校長 豊澤尚弘

新年あけましておめでとうござります。早いもので、新羽中学校に着任してもうすぐ3年が経とうとしています。日頃より、新羽中学校の教育活動に対し、地域の皆

穏やかな風に育まれて



生徒一人ひとりが安心して学べる学校を目指して、引き続き、地域

いろいろな人とできるような町になれば、相手を頼ることができるようになるので信頼をおくことができるようになります。

このように、高齢者が生活しやすい町にするためには、町の人の日常生活における習慣が大切になります。その習慣となる思いやりやコミュニケーションを大切にしていきましょう。

さまでら温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

地域行事や見守り活動を通じて、生徒たちは多くの学びと成長の機会をいただいています。新羽地区の穏やかな風土に育まれ、生徒たちも周囲に気遣いのできる温かな人柄に成長しています。学校は地域とともににあるという思いを、日々実感しています。本年も、

新しい年を迎え、あらためて新羽地区の益々の繁栄と地域の皆さまのご健康をお祈りいたしますとともに、本年も学校への変わらぬご支援をお願いいたします。

世の中には差別や偏見がある。差別や偏見で苦しんでいる人々がたくさんいる。そのうちのある人達が障害者だ。障害者とは日常生活において、相当な制限を受ける人々のことを行う。私達が当たり前にできている勉強、スポーツ、睡眠などをすることが障害者にとっては難しい。ハンデをもらっているのにも関わらず、差別、偏見以外にもいじめや虐待もされやすい。障害自体をなくすことは私達にはできないが、このようなハンドルをなくし自由、かつ平等に障害者の人々が生きられるようになるために私は二つの意見を提案する。

一つ目は障害者と接する際、健常者と同じように接することだ。特別扱いも遠慮もしなくていい。ただ普通にコミュニケーションをとることで障害者も安心でき、人間関係の築きや自己肯定感の向上が期待できる。

二つ目は障害そのものを理解し考えることだ。障害というのは様々な種類があり、状況はその人

の皆さんと手を携えながら、生徒たちの健やかな成長を支えていきたいと思います。

新しい年を迎えて、あらためて新羽地区の益々の繁栄と地域の皆さまのご健康をお祈りいたしますとともに、本年も学校への変わらぬご支援をお願いいたします。

新羽中三年 岩間結菜

新羽中三年 岩間結菜

「普通の人だつたらな」と思わずその人を理解することが重要だ。

この二つは意外と簡単だと思う人もいるだろうが、そう甘く見てはいけない。障害者とコミュニケーションをとることは相互理解を深め、よりよい社会を築くうえで必要不可欠だ。障害特性を一人ひとりが理解し健常者と同じよう接することが差別や偏見を少なくする鍵となるだろう。

新羽高校50周年の 感謝とご挨拶

神奈川県立新羽高等学校
校長 勝股 正

新羽高校が、新羽の地に創立されてから、今年でちょうど50年目となりました。地域の皆様から、50年間さまざまご支援ご協力をいただきて参りましたことを心より感謝申し上げます。今年は、一年を通じて創立50周年の様々な記念行事、記念事業を計画しています。昨年末から「まなびや基金」という、ふるさと納税の仕組みを使つた、いわゆるクラウドファンディングも開始しています。詳細は、本校ホームページをご覧ください。

これまでの50年も、新羽地区の一員として、地域とともに新羽高校が発展していくればと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

生徒たちは多くは、新羽地区の外から通っていますが、こうした授業を受けながら、自分たちの学び舎のある新羽地区への理解を深めています。

民生児童委員／主任児童委員 紹介 令和7年12月改選になりました。

(民生児童委員)
南町内会
中ノ久保町内会
大竹町内会
中央町内会
自治会
新羽町内会
北新羽町内会
クリオ北自治会
(主任児童委員)

望月千鶴・山崎智子・富井恵美子
秋本伸明(会長)・鈴木京子(副会長)
平等ひとみ
米山健二・土岐頼延
欠員中
安江文子・迫圭子
吉田恵三・大森幹夫
大場英俊
安保裕子・長瀬絵香

校の地理の授業では、新羽地区の地形図などを教材にしながら、地形や生活と環境について学ぶ单元がありますが、かつて浸水の多かった新羽地区も、浸水対策が進んで、最近は被害がめつきり減つたことを生徒たちは学んでいました。ひとえに、港北区と住民の皆さんのが協力して水害防止に取り組まれてきた賜だと思います。

令和8年1月1日

東急バス はる動物病院 伊橋興業株、株大杉運輸、五元工業株、小林英子、小坂広子、西山壽枝、田中弘、秋葉康幸、峯木輝雄、秋本浩、齊藤武男、西山 豊、飯島春夫、吉田 茂、小山博之、望月敦司、金子政男、野口真佐子、野口 進、小山幸夫、飯島公男、齊藤孝行、土岐良成、秋本恵美子、医療法人寛栄会カメリア、

682口 1,364,000円
もの多額のご協力をいただきまし
た。この賛助会費は港北区社会福
祉協議会へ納入し、新羽地区社会
福祉協議会に活動交付金として還
元されます。

◆北新羽町町内会

◆北新羽町町内会
富岡正行、鈴木正敏、ヘアーサ
ロンケイーン、(株)アルプス物流、
原和正、新保秀作、安達忠男、
野村進、白川幸治、本間三夫、
楠本アキ、杉原玲子、山本和弥、
森下茂子、小林省治、高橋良昌、
小形聰明、飯塚昭、菅沼秀記、
大城明美、長瀬理恵、新羽町町内
西山憲二郎、火本賢一、火本秀充、
大森洋一、西山孝雄、西山裕一、
秋元朝光、松井隆二、秋元重雄、
西山正男、秋元秀子、高瀬喜美子、
西山憲二郎、火本賢一、火本秀充、

◆新羽町町内会

豊廣スミ子、岩崎恵子、山田京子、
青木繁、内古昭好、山本義広、
園家史朗、中里保雄、鈴木恵美子
◆新羽町町内会
富樫祐彰、万寿留夫、平沢洋、
福田佳子、安江文子、迫圭子、
株デザートランド、株丸紀、

綿谷尚久、佐野雅彦、青木一繁、
秋元弘之、松本東五、松本須美子、
小川清志、池田義春、池田 守、

山本健司、小山幸治、三栄精機(株)、
(有)ナガサキ研磨工業、矢作ダイカ
スト工業、大谷朝光、西山良行、

◆新羽町親睦ゴルフ大会実行委員様
ご寄付ありがとうございます。

新羽町親睦ゴルフ大会実行委員様
親睦ゴルフ大会でのチャリティー金

寄付金は地域福祉活動に有効に活用させていただきます。

・ 11月 23, 000円
ご支援ありがとうございます

新羽地区社協ホームページのお知らせ

以下の QR コードから新羽地区社協のホームページがご覧になれます。

広報紙（社協ニュースやふくしの和）の発行済み号がご覧いただけたり、

イベント等の報告、新羽で活動する団体のリンクなど、

新羽地区にお住まいの皆様に「暮らしに役立つ情報」をお届けして参ります。



「ふくしの和」第41号は、いかがでしたでしょうか。今回も多くの新羽地区の方々からのご支援やご協力を賜り、無事に発行することができました。ありがとうございました。編集作業を進める中で、さまざま�新しい発見や学びがありました。その中で一つ、記事では載せきれませんでしたが、紹介させて頂きます。

大新羽音頭を作った野路先生・松井さんコンビは新田小学校の校歌も作られています。新田小学校は明治時代に開校した歴史ある学校です。

校歌は昭和28年に制定とのこと。大新羽音頭は昭和30年。新羽の街の歴史を知ると面白いなと感じました。

令和八年も活気あふれる「和・輪・話」のまちにつばを皆で支えていきましょう！

廣報委員一同

